

『救いの聖名を呼ぼう』 出エジプト記20章1～7節 2018.7.1 聖日礼拝説教より

『「彼に信頼する者は、失望させられることがない」…主が、主を呼び求めるすべての人に対して恵み深くあられるからです。「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる」のです。』

ローマ人への手紙10章11～13節

「十戒」を一言で言えば、『互いに愛し合いなさい！ 繰り返されるのが『わたし』と『あなた』！ 創り主は「あなた」に話かけ、「あなた」の決断を迫られる！

①名乗る神様…モーセに、『わたしは有るという者』と語り、ヨセフに、「その子の名はイエス」、「インマヌエルと呼ばれる」と告げられた！ 神様は、『わたしは、永遠から永遠に変わらず存在し、救い主として罪人を救うために世に来て、あなたがたと共に歩む者だ』と名乗られた！ 『羊は羊飼いの声を聞き分け、彼は自分の羊の名を呼んで連れ出す(ヨハネ 10:3)』とあるが、あなたは神の御声を聞き分けられる？ 神に名があるのは世の神々と区別して、と真の神を間違いなく呼ぶため！ ダビデの子孫として、2018年前ベツレヘムで生まれた救い主を間違えることはない！

②御名をみだりに唱えないために…その昔、「御名を使う」のは、魔術、呪術などの儀式の時。御名を、人間の願望・自分の欲望を叶えるために利用することを戒めた！ 戦時中の「天皇陛下(現人神)」の名のもとに戦争を正当化したり、世のカルト宗教の教祖が、神を名乗ったり、キリスト教会も、「主が言われた」として、自分の主義主張を通すなら御名の乱用！ 御言葉を突きつけて誰かを断罪することも禁止！ 神と人の前にへりくだり、救いの聖名を正しく呼びたい！

③御名を正しく唱える…ローマ 10:13 の通り、御名を唱えるのは救いを求める時であり、御名を正しく唱える心には、いつも神の救いへの感謝と讃美がある。罪から救われたクリスチャンは、その神の名を汚さず、神の救いの聖名に恥じないように生きたい！ 「クリスチャン」と呼ばれる私たちには『キリスト』という神の名が刻まれている！ キリスト者は、その生活のすべてが、神の救い・憐れみ・恵みを表す者！

★クリスチャンである自分には、神の愛と救いの恵みが刻まれていることを自覚して、日々この方を礼拝し、闘いの世に、神の愛と平和を実現するために福音を宣べ伝える者でありたい！ 『…信じたことのない方を、どうして呼び求めることができるでしょう。聞いたことのない方を、どうして信じることができるでしょう。宣べ伝える人がなくて、どうして聞くことができるでしょう。…「良いことの知らせを伝える人々の足は、なんとりっぱでしょう。』』 ローマ10:13～15